

本展について

戦後、台湾の日本政府による植民地統治が終わり、民衆が中国から来る国民党政府に大いに期待を抱いていました。ただ、その期待とは裏腹に、直面したのは国民党政府の官僚の著しい横領や汚職、軍人・兵士などの狼藉でした。その上、物価高騰と食料不足も起り、民衆の期待が不満に変り、果てに衝突事件「二・二八事件」が発生しました。その後、紛争が台湾全土に広がり、一般市民に対する武力による鎮圧に発展することとなり、1万人以上が犠牲になったとされています。この事件が当時の社会に大きな打撃を与え、生き残った人々が政治に対して、恐怖を抱き関心を持たなくなりました。そして、数十年にわたって台湾社会の発展に深く影響を与えてきました。

二・二八事件の歴史は戒厳令下の白色テロ時代を経て、ようやく1980年代後半の民主化運動とともに段々と話題に上がり、真相究明が始まりました。歴史的文献の公開及び口述史資料の収集により、命が犠牲になると分かっているながら、「正しいことを堅持する」信念を貫き、権力に勇敢に立ち向かう人々の存在が明らかになりました。

本展の開催場所は台南市指定の文化財である「旧台南州会」です。ここは「台南二・二八事件処理委員会」の会議開催地でもあり、重要な民主・人権の歴史跡地でもあります。

是非スマートフォンを使い、各展示エリアに設置されているQRコードを読み取って、歴史的文献を閲覧したり、動画を見たり、Podcastを聞いてみましょう。二・二八事件をより詳しく知ることができます。また更にこれらの事件が発生した跡地に訪れたり、皆で展示会の感想を共有してみましょう。こうして人々の小さな力が集まることで、過去の権威主義支配が再び戻ってくることはなくなり、台湾の民主主義と自由が永遠に続く信じています。

交通案内

台南市二・二八記念館 市指定の文化財・旧台南州会

[台南市中西区湯徳章大道 3 号]

開館時間 | 火曜日 - 土曜日 8:30-20:30 日曜日 8:30-17:30
国民の祝日、月曜日、毎月最終金曜日(整理休館日)は休館日です。

入場料 | 無料

[公共交通サービス]

台南駅 → 台南市内バス 7 番 → 民生綠園 → 忠義路方面
に向けて徒歩約 5 分 → 台南市二・二八記念館

[お車でのご来館]

国道 1 号 → 台南 IC (327K) → 東門路 → 府前路 → 南門路
→ 湯徳章大道 → 台南市二・二八記念館



正義與勇氣

Permanent Exhibition : Justice & Courage



展示エリアについて

本展は当時の「台南市」を背景に、1階と2階にてそれ二・二八事件が発生した後、台南に起きた変化、及び戦後の民主化と人権尊重を求める経緯を紹介。

1階は「正しい事を固持する」をテーマに、「重要な13日間」では、時系列で二・二八事件が起きてから13日の間に起きた変化を述べ、「変化対応と選択」、「先駆者の物語」では、個人の視点で、先駆者の正義の信念が表す気骨と下した決断を解説します。

2階は「自由には代償がつきもの」をテーマに、台南市民の民主化推進と人権尊重を求めた関連事件について展示します。自由を求めるために、権威主義的統治に対抗、民主化の推進に尽力、目の前に脅威と困難が迫って来ても、社会正義と真理と一緒に戦う勇気こそ、我々が自由と民主を求めていく中、忘れてはいけない信念です。

| 三月の洪水

詩人吳新栄が逃亡中、友人の家に居候した時、「3月に洪水が来るとは誰も予想できなかつた」という詩を作りました。

| 重要な13日間

1947年、台湾では民衆と役人が衝突する二・二八事件が発生し、台南の犠牲者は台湾において最も少なかったそうです。事件が発生した2月28日から3月13日までの間、台南はどんな状況だったでしょうか？県政府、市政府などの行政システムはどのように対応したのでしょうか？市民を代表する県参議会、市参議会はどんな行動をとったのでしょうか？

| 変化対応と選択

事件が起きた直後、一部の列車が停止し、電気通信障害が生じました。国民党政府の役人、軍人や警察が身を隠し、街に騒ぎに紛れて物を盗む人もいました。混乱の中、自発的に街と工場を守る人も、ふるさとを守るために、戦いに参加する人もいました。4つの展示エリアから人々は事件が起きた時、どんな行動をとったか、どんな形で介入したか、変化にどう対応したか、どんな選択をとったかを見てみましょう。

| 先駆者の物語

先駆者の人生の物語を振り返しながら、彼らと同じ立場になって、彼らが命に危険を感じ、権威主義の脅迫を受けていた当時、なぜこの選択をしたのか、考えてみましょう。そして、この信念が道標になって、私たちを案内して、自由と民主を求める道に向かって進んで行くのでしょうか。

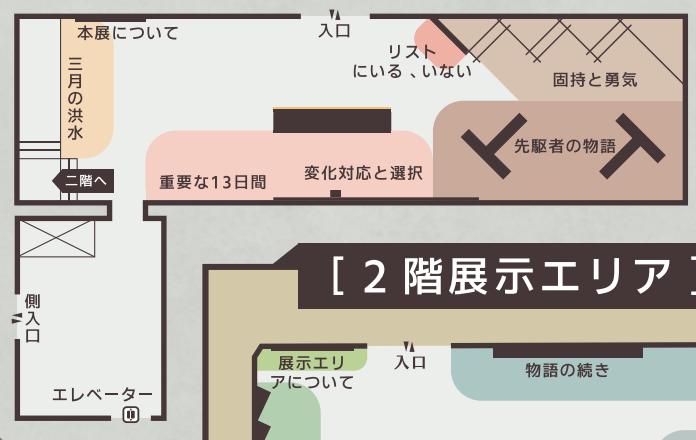
| 固持と勇気

先駆者は既にこの世から去りましたが、彼らの勇気が溢れる話や精神は、今でも人々の心に響いています。台湾の民主的発展のその後に大きな影響を与えました。

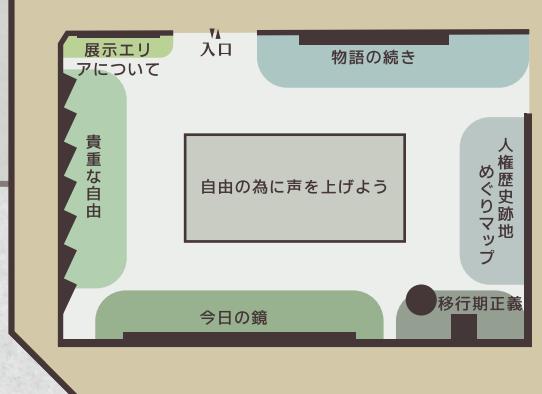
| リストにいる、いない

冤罪の是正、歴史的文献の発見及び当時の事件の証人が姿を現すにしたがって、人々はようやく資料に隠れた真実を知ることができます。あなたにも彼らと同じく、信念の為に、権力に立ち向かう勇気がありますか？

[1階展示エリア]



[2階展示エリア]



| 貴重な自由

こちらの展示は「思考と表現の自由」、「民衆参政の自由」、そして「人身の自由及び公正な法律手続き」という三つのテーマに分かれています。過去の人権侵害や戒厳令下において、人々の政治体制とのぶつかり合いがあったからこそ、今の自由を手に入れることができたということを紹介し、さらに、民主法治は社会にとっていかに重要なかをこの展示を通し、伝えていきたいです。

| 今日の鏡

このエリアはアートの表現技法を用いています。鏡の前に立ってみてください。映っているのは自由の自分です。現在の自由はすべて過去の人々のぶつかり合いと努力の成果です。これらの自由や民主、人権を勝ち取るために起きた事件は鏡を通して、自分と他者、過去と現在を繋ぎ、最終的に鏡から自由な自分を組み立てていくことができるのです。

| 移行期正義

移行期正義とは国が権威主義体制から民主主義体制へ移行する際、過去の人権侵害や社会に残した傷跡に対して向き合い、対処する試みのことです。移行期正義は執政者の任務だけではなく、一般市民の理解、関心及び参与が必要です。そうすることで過去を反省し、台湾の民主価値がより高まるでしょう。

| 人権歴史跡地めぐりマップ

台南市人権歴史跡地めぐりマップのPodcast音声ガイドを利用し、実際に足を運び、当時人権侵害の事件が発生した跡地、例えば、王育徳記念館や湯徳章記念公園などを訪れてみましょう。

| 物語の続き

判決書に隠されていた人生の物語はその後、どうなったのでしょうか？死から逃げられないと分かり、絶命詩を書き残した何川、遺物を旧友に託した丁窈窕、そして、一命を取り留め、当時の状況を語ってくれる人々など、それぞれどんな人生を歩んできたのかを辿ってみましょう。

| 自由の為に声を上げよう

舞台に立ち、今、大勢の前で、自由、民主及び人権の為に、自分の信念を大声で演説している姿を想像してみてください。そして、舞台に立っている姿を後の鏡と一緒に写真におさめましょう。どうかこの勇気と信念がいつまでも変わらぬように願います。